



ふたかみ NEWS プチトマト

社会福祉法人 ふたかみ福祉会

583-0856

大阪府羽曳野市白鳥3丁目16-3-102

発行責任者：寺村美知子

編集責任者：関口奈緒美

TEL 072-959-3221

FAX 072-957-1604

Email futakami@hi-ho.ne.jp

<http://www.futakamifukushi.sakura.ne.jp/>



はびきのえん



なつの とりくみ

あつ～い日が続いていますが、暑さにも負けずは
びきの園では楽しい夏の取り組みが行われました。
流しそうめんやスイカ割り、たこやきパーテ
ィー、ミニ夏祭り！！普段出来ない体験ができて
皆さん大盛り上がりでした！！



原水爆禁止世界大会

原水爆禁止世界大会に8月4日から3日間参加しました。広島と長崎に原爆が落とされたことは、学生時代の平和学習にて勉強をした程度の知識しかありませんでしたが、広島での大阪原水協の集

会で大阪から向かう人たちはおよそ350人という多さに、たくさんの方が関心をもっていることに驚きました。

そしてその350人の参加者の半分が、世界大会に今回初めて参加だとのことでした。

世界大会の会場に入ると各都道府県からの参加者で埋め尽くされており、「青い空は」の歌で大会の幕を開けました。この歌は原爆が落ちた時の歌であり、当時の人々の様々な気持ちや伝わってきました。他に、世界各国から平和についての活動を行っている方々



の報告がありました。平和や核兵器廃絶に向けて世界規模でたくさんの方が活動をしており、唯一の被爆国である日本も二度とこのような悲惨な事態が起きないように、様々な人々が活動を行っている話を聞く

ことができました。自分自身が、平和について出来ることは何なのかと考えさせられました。

2日目は、「動く分科会」の米軍岩国基地の調査行動に参加しました。

自分自身は米軍基地問題について今まで知らないことが多かったのですが、バスで現地に向かう道中にガイドの方から話を聞いていると、米軍基地は日本に必要なものではないかと感じました。岩国基地というのは、民間の空港と米軍の軍港を併せ持つ

日本で唯一の基地で、いざ戦争が始まると極東アジアでは最前線基地になります。実際、基地の外から見ると最新鋭の戦闘機が並んでいることに驚きました。

最新の戦闘機は、今まで以上に爆音が鳴り、岩国基地周辺の家は防音の窓で対策しているものの、音だけの問題ではなく戦闘機が毎日飛んでいるということ想像すると、違和感でしかありませんでした。

米軍の居住地も見ることができました。建物は新しくとてもきれいなものでした。その米軍の住宅街をつくるにあたっては、岩国基地を拡張する際に近くの山から土砂を運ぶために切り開かれた山の部分に、約260戸ほどが建設されています。実際には約50戸ほどしか入居していません。

そして、この住宅を建設した費用は全て日本の税金から

捻出されているのだと聞き驚きました。米軍の為に日本の税金をつかい、ましてほとんど入居していないとは、無駄遣いといえるのではないでしょうか。岩国基地を始め米軍が優遇されている事柄が多く、日本政府としてももっと日本国民の為に最優先に考えて行動して欲しいと、今回の岩国基地調査行動で感じました。

3日目は、世界大会閉会総会で、日本のこれからの決意を述べたり世界の政府関係者の話を聞きました。今回の世界大会では、世界からも政府関係者が来られていましたが、先進国からは全く参加していなかったのがとても残念でした。

先進国が先頭に立って引っ張っていかねければ核兵器廃絶、ひいては世界平和は実現しないのではないかと今回の世界大会に参加して感じた3日間となりました。(安保)



障がい児者施設課程を通じて感じた事

7月24日の火曜日に、平成30年度社会福祉施設職員研修 障がい児者課程 通所コース（2日目）に参加しました。今回は午前と午後で2つの講義を受け、午前は『相談支援と地域連携』、午後は『障がい児・者支援の専門性とは何か？』というテーマに沿ってグループワークを交えながら理解を深めました。

午前の『相談支援と地域連携』では、講師の宮崎充弘氏が阪神淡路大震災の時に被災地でボランティアを行った際に、障がいのある人たちが炊き出しを行ったり、障がい児たちがグラウンドで遊ぶ姿を見て、避難していた人たちが勇気づけられたという体験談を交えながら、相談支援はどのような支援を行っているのかということ、相談支援に関する制度や法律を学びました。

グループワークでは、『外出中に、ある利用者が店のおやつを勝手に取り、会計をせずに食

べてしまった』という実際にあった事例をとりあげ、その時に自分だったらどのような対応をとるのか、また、なぜそうしたのかという事を考え、グループで考えを共有しました。すると、1つの事象でも利用者の立場に立つて考えるか、店員の立場に立つて考えるのか、等様々な視点で考えると様々な答えを見つけた。

午後からの『障がい児・者支援の専門性とは何か？』というテーマでは、講師の津田耕一氏が障がい児・者支援の専門性を『一人ひとりの利用者を大切にした支援』であると定義した上で、重要な要素として価値・倫理、専門的知識、専門的技術の三要素をあげ、その各要素について理解を深めました。その中で、利用者の尊厳を尊重できているのかという事を再認識する為に、「同じ人間であることを常に意識する」「個別性の尊重」「利用者の行動

の背景について考える」「同じ目線で話をする」「年齢にふさわしい言葉遣いや接し方をする」といった合計26項目にチェックを入れて現在の自分がどの程度利用者の尊厳を理解しているのかを考えました。

そうすると、「利用者のその人らしさを発揮できるようにする」「その人にしかない素晴らしさや魅力を見出す」といった、エンパワメント（本来有している力を発揮できない状態にある人々に対し、その力を引き出すための援助）とストレングス（人間の弱さを受け入れ、強みを引き出す）の視点の支援がまだ十分でないことに気付きました。

今回の研修で新しく学んだこと、気付いたことを今後の実践の中で生かしていきたいと考えています。

（波多江）

夏の「物品販売事業」にご協力いただいたみなさまへ

このたびは、ふたかみ福社会後援会「物品販売事業」にご協力いただき、まことにありがとうございました。

今回の収益は、障害のある方々の生活を支える事業に活用させていただきます。

今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なかまの仕事

ご紹介

はびきの園 リサイクル班

リサイクル班では、アルミ缶回収と、アルミ缶回収のためのビラまき、缶をつぶす作業を主に取り組んでいます。

他にも内職として、ぶどうの箱折りやボルト作業なども取り組んでいます。

休憩をこまめにとって、水分も充分に取りながら体調に気を付けて暑日も頑張っています。

「どんな仕事にもチャレンジ!!」という気持ちで毎日頑張ってます!

たくさん缶を出して頂けるように、ビラの内容も変えようと考えています。



7月29日 **cafeHAPIBAR** では夜カフェを開催しました。

当日は台風の影響が心配でしたが予定通り OPEN することができました。

向かいにある小学校では夏祭りが行われており、その帰りにカフェでゆっくりお茶を楽しんでくれるお客様もたくさんおられました。



これからも皆さんが「なんだか笑顔になるように」いろいろなイベントなどを開催していきますので気軽に足を運んでください。



はびきの園

イベント★自主製品販売

HAPIBAR

18日(月) 葛井寺 10:00~12:00
25日(月) 道明寺天満宮 10:00~12:00
28日(金) 滝谷不動尊 9:00~14:00

30日(日) ふれあいひろば(道明寺商店街) 10:00~15:00

30日は日曜日ですが、**臨時オープン**しています
是非お立ち寄りください♪

暑さのピークは越えたものの、残暑は厳しい予想です。
猛暑や豪雨等の気候変動の原因は、やはり地球温暖化でしょうか。
節電、マイバッグ持参、歩き優先等を心掛けていますが、エアコンは欠かせません。地球環境と我が家の財布環境で悩んだ夏でした。
(宮崎)

編集部の独り言

【アルミ缶回収】
880kg
ありがとうございました。

【ボランティア】
であい様
畑英作様
細川直幸様
松倉和代様

【ボランティア】
玄米180kg寄贈頂きました
生川英二様

古市
永平まゆみ様
藤園様

【寄付・寄贈】
坪田幸子様

井川たつ子 以上2口
泉谷利喜三 以上4口
山本富子 以上5口

【18年度8月】
後援会入会及び更新の方々(敬称略)